

夢幻の美 — 織りなす彩華

智内兄助展

宮尾登美子 **藏** 挿絵中心に



「藏・冬麗か」1994年

Kyosuke Chinai

1995年7月18日(火)~8月6日(日)

開館時間=午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)ただし金曜日・土曜日は午後7時まで(入館は午後6時30分まで)
休館日=毎週月曜 入場料=一般600円(400円)・学生400円(200円) ※()内は20名以上の団体料金および前売料金
主催=刈谷市・刈谷市教育委員会・毎日新聞社 後援=愛知県教育委員会

〔美術講演会〕**〔聴講無料〕**
1995年7月22日(土) 午後2時から
講師 智内兄助氏
会場 2階研修室

※展覧会入場料の他に要整理券(無料)

刈谷市
美術館

〒448 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
Tel. 0566-23-1636 Fax. 0566-26-0511

夢幻の美—織りなす彩華

智内兄助展

— 宮尾登美子 **藏** 挿絵中心に —

智内兄助氏は、昭和23年(1948)愛媛県越智郡波方町に6人兄弟の末っ子として生まれました。今治西高校を経て東京芸術大学に進み、在学中の昭和46年(1971)にはシェル美術賞展で佳作賞を受賞するなど早くから活躍しました。昭和49年(1974)に東京芸術大学大学院を修了後は本格的に画業に専念し、内外の主要な展覧会、有力コンクールで受賞を重ね、昭和62年(1987)の第30回安井賞展で人気投票による特別賞、平成2年(1990)には第33回安井賞展で佳作賞を受賞するなど現代画壇の実力派の一人として高く評価されています。また、平成4年(1992)3月から翌5年4月にかけて、毎日新聞朝刊連載小説「藏」(宮尾登美子氏作)の挿絵を担当し、大人気を博しました。

智内氏は、1980年代初頭から娘の久美子さんをモデルに、和紙にアクリル絵の具という特異な描法で着物姿の童女シリーズを連綿と描き続けています。一見、日本画と見まごう伝統的様式美と洋画の技法が巧みに混合された画面は、計算されつくした巧緻な図柄と相俟って、鑑賞者を現実から妖しい白昼夢へと誘いこみます。

本展は、1980年代以降の油彩画の代表作に「藏」の挿絵原画を加えた110点の作品で、智内氏の優美で幻想的な美の世界を余すところなく紹介いたします。



「みづ」1980~81年



「界結べ」1987年



「扇面激艶図屏風 I」1989年

藏

くら

絵はどれも、幼児から少女期へ移ろうとする女の子を描いており、画面からは涙のしたたるような、或いは汗の飛び散るような、生々しい感情が噴き上がっている。悶え、苦しみ、よこび、また悲しむ女の子の心のなかが、見るもの胸に電流のように伝わってくる。

この画家はきっと、内面に大きな活火山を抱いており、それを女の子に仮託して、見る人に訴えたいのだと私は思った。

宮尾登美子



「桜狩遊楽図 I」1989年



「大日来迎」1990年



「藏・挿絵 少女時代(No.163)」1994年



「藏・挿絵 五感(No.106)」1994年

刈谷市美術館

- 所在地
愛知県刈谷市住吉町4-5
TEL (0566) 23-1636
- 交通案内
JR東海道本線・名鉄三河線
「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分
- 駐車場
43台収容可能(無料)



割引券

夢幻の美—織りなす彩華

智内兄助展

●本券では入場できません。当日、本券を受付にお出し下さい。1枚につき1名様に限り下記割引料金にてご鑑賞いただけます。

一般600円→500円 / 学生<小・中・高・大学生>400円→300円

割引券

夢幻の美—織りなす彩華

智内兄助展

●本券では入場できません。当日、本券を受付にお出し下さい。1枚につき1名様に限り下記割引料金にてご鑑賞いただけます。

一般600円→500円 / 学生<小・中・高・大学生>400円→300円